

# 矢間敬章 学位論文審査要旨

主 査 久 留 一 郎

副主査 北 野 博 也

同 中 村 廣 繁

## 主論文

Dietary glucosylceramides suppress tumor growth in a mouse xenograft model of head and neck squamous cell carcinoma by the inhibition of angiogenesis through an increase in ceramide

(食餌性グルコシルセラミドが頭頸部扁平上皮癌移植モデルマウスにおいてセラミドを増加させて血管新生を妨げ腫瘍の成長を抑制する)

(著者：矢間敬章、北谷和之、藤原和典、加藤みさき、西村（橋本）真由美、河本勝之、長谷川賢作、Alicja Bielawska、Jacek Bielawski、北野博也、岡崎俊朗)

平成26年 International Journal of Clinical Oncology 掲載予定

## 参考論文

1. Inhibitory effects of dietary glucosylceramides on squamous cell carcinoma of the head and neck in NOD/SCID mice

(NOD/SCIDマウスにおける頭頸部扁平上皮癌に対する食餌性グルコシルセラミドの抑制効果)

(著者：藤原和典、北谷和之、福島慶、矢間敬章、梅原久範、菊池光倫、五十嵐靖之、北野博也、岡崎俊朗)

平成23年 International Journal of Clinical Oncology 16巻 133頁～140頁

2. 耳症状を主訴として初診したANCA関連血管炎症候群症例

(著者：矢間敬章、長谷川賢作、國本泰臣、田口大蔵、畠史子、北野博也)

平成23年 Otology Japan 21巻 149頁～155頁

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、米糠由来グルコシルセラミドの頭頸部扁平上皮癌抑制効果について、さらに詳細なメカニズムについて検討したものである。その結果、*in vivo*において、病理標本による血管新生の抑制、また血管新生を誘導するシグナルの発現抑制など、癌増殖に必要な血管新生に対する抑制効果が証明された。一方で、グルコシルセラミドを経口摂取すると、体内では内因性のセラミドが増殖していることが示され、このセラミドを*in vitro*でマウス血管内皮細胞に作用させると、血管新生シグナルの抑制効果が同様に示された。本論文の内容は、グルコシルセラミドによる頭頸部癌増殖制御機構を明らかにしただけでなく、これまで不明であったグルコシルセラミドの代謝吸収過程の一端を明らかにしており、腫瘍学および臨床薬理学分野において明らかに学術水準を高めたものと認める。